

別表5－2 維持基準値

保護装置試験判定基準

判定基準	関連する遮断器、故障表示等、警報装置、遮断器の開閉装置等が正常に動作すること。		
	高圧受電用地絡継電装置	高圧受電用地絡方向継電装置	高圧受電用過電流継電器
準拠JIS	JISC4601	JISC4609	JISC4602
動作電圧特性	—	整定値±25%以内で動作	—
動作電流特性	整定値±10%以内で動作	整定値±10%以内で動作	限時要素：
			整定値±10%以内で動作
			瞬時要素：
			整定値±15%以内で動作
位相特性	—	製造者の明示する範囲内動作	—
動作時間特性 単体	整定値の130%で0.1～0.3秒以内で動作	整定値の130%で0.1～0.3秒以内で動作	限時要素： $t/T-N/10 \leq 0.17 (0.12)$ で動作 $t = \text{整定値の300\% (700\%)}$ 動作時間 $T = \text{公称動作時間 (動作時間 制定目盛位置 N)}$ 瞬時要素： 0.05秒以下で動作
	整定値の400%で0.1～0.2秒以内で動作	整定値の400%で0.1～0.2秒以内で動作	
慣性特性	整定値の400%の電流を急激に0.05秒の間通電して動作しない。(不動作)	整定値の400%の電流を急激に0.05秒の間通電して動作しない。(不動作)	—

直流漏れ電流試験判定基準 (JEAC8011-2008高圧受電設備規程参照)

直流漏れ電流による判定は(1)～(3)により総合的に判定する。

(1) 漏れ電流値に対する判定は、下表のとおりとする。

(2) 漏れ電流チャートでキック現象が見られるもの(要注意)。

(3) 漏れ電流が時間とともに増加するもの(要注意)。

※総合判定においては、漏れ電流値を重視する。

判定項目	種類	良	要注意	不良
漏れ電流値 (μA)	CVケーブル	1.0以下	1.0～10	10以上
相間不平衡率		200%以下	200%超過	
成極比		1以上	1未満	
弱点比		3以下	3超過	

漏電遮断器試験判定基準

項目	基準値	準拠規格
感度電流試験	定格感度電流の50%以上100%以内で動作	JISC8371
漏電引きはずし 動作時間試験	高速型は、0.1秒	
	時延型は、0.1秒を超え2秒以内	
絶縁抵抗試験	各端子間、充電部と外箱間で5M Ω 以上	

漏電火災警報器試験判定基準

項目	基準値
感度電流試験	公称動作電流値の+10%、-60%以内で動作